

# 日本学習社会学会

## 第 21 回大会 プログラム

2024 年 9 月 14 日 (土)・15 日 (日)

於 畿央大学

日本学習社会学会 第 21 回大会実行委員会

# 日本学習社会学会 第21回大会 開催要項

## 1. 期間および会場

【期間】2024年9月14日（土）・15日（日）

【会場】畿央大学（〒635-0832 奈良県北葛城郡広陵町馬見中4-2-2）

【お問い合わせ先】日本学習社会学会第21回大会実行委員会事務局 宮村 裕子

E-mail : learningsociety21th@gmail.com

## 2. 日程

### (1) 一日目：9月14日（土）

11:00～12:30	全国理事会	【E棟 第3会議室】
12:00～	大会受付・学会受付	【冬木記念ホール1Fロビー】 ※学会費納入用受付は、12:00～14:30の時間帯のみです。
13:00～14:35	自由研究発表Ⅰ	【L棟 L202講義室】
	自由研究発表Ⅱ	【L棟 L203講義室】
	自由研究発表Ⅲ	【L棟 L102講義室】
	自由研究発表Ⅳ	【L棟 L103講義室】
14:45～15:45	総会	【冬木記念ホール】
16:00～18:00	公開シンポジウム	【冬木記念ホール】 「学校施設を基点とした学習社会の『共創』 —社会教育としての学校開放の再定義—」

・年報編集委員会・研究推進委員会・国際交流委員会については、別途行われます。

### (2) 二日目：9月15日（日）

9:15～9:45	課題研究Ⅰ 打ち合わせ	【L棟 L102講義室】
	課題研究Ⅱ 打ち合わせ	【L棟 L101講義室】
9:30～	大会受付	【冬木記念ホール1Fロビー】
10:00～12:00	課題研究Ⅰ	【L棟 L102講義室】 「学習社会基盤としての地域社会と学校教育 —『特別活動』における学習活動を軸として—」
10:00～12:00	課題研究Ⅱ	【L棟 L101講義室】 「多様性の時代における教育への問い —社会的に周縁に置かれた人々の声や視点から教育、 社会を問い直すには—」

13:00～16:00	自由研究発表V	【L棟 L202講義室】
	自由研究発表VI	【L棟 L203講義室】
	自由研究発表VII	【L棟 L102講義室】
	自由研究発表VIII	【L棟 L103講義室】

- ・一部変更が生じる場合は、当日にご案内いたします。
- ・両日とも、会員控室として【R棟1階 カトレア】および【ホール棟1階 ラーニングコモンズ】をお使いいただけます。

### 3. 大会参加費

当日、会場にてお支払いください。

一般会員                    2,000円（正会員・臨時会員）

院生・学生会員        1,000円（院生・学生）

※ただし、公開シンポジウムのみ参加は無料です。

※参加人数の事前把握と受付混雑緩和のため、事前の参加申込へのご協力をお願いします。

### 4. 会場への交通

・最寄駅は、近鉄大阪線「五位堂」（ごいどう）駅です（急行停車）。

・詳細は、畿央大学 Web サイトでご確認ください。

<https://www.kio.ac.jp/guide/campus/access/>



#### ●五位堂駅まで

・JR 新大阪駅から：大阪駅で JR 大阪環状線に乗換。鶴橋駅で近鉄大阪線に乗換。

鶴橋駅から五位堂駅に向かう際は、「2番のりば」から発車する「近鉄大阪線」にお乗りください。1番のりば(近鉄奈良方面ゆき)の電車は、五位堂駅には停車いたしません。

・JR 京都駅から：近鉄京都線・橿原線で大和八木駅にて、近鉄大阪線に乗換。

・JR 名古屋駅から：近鉄名古屋駅から特急にて、大和八木駅で乗換。

大和八木駅から五位堂駅に向かう際は、「3番のりば」・「4番のりば」から発車する電車にお乗りください。特急には、別途、特急料金が必要です。

・大阪空港（伊丹）から：空港リムジンバスで「近鉄上本町駅」にて近鉄大阪線に乗換。

「近鉄大阪線」は、「大阪上本町駅」が始発駅です。

- ・近鉄線については、近畿日本鉄道 Web サイト「路線図（大阪線）」でご確認ください。  
<https://www.kintetsu.co.jp/station/?route=d>



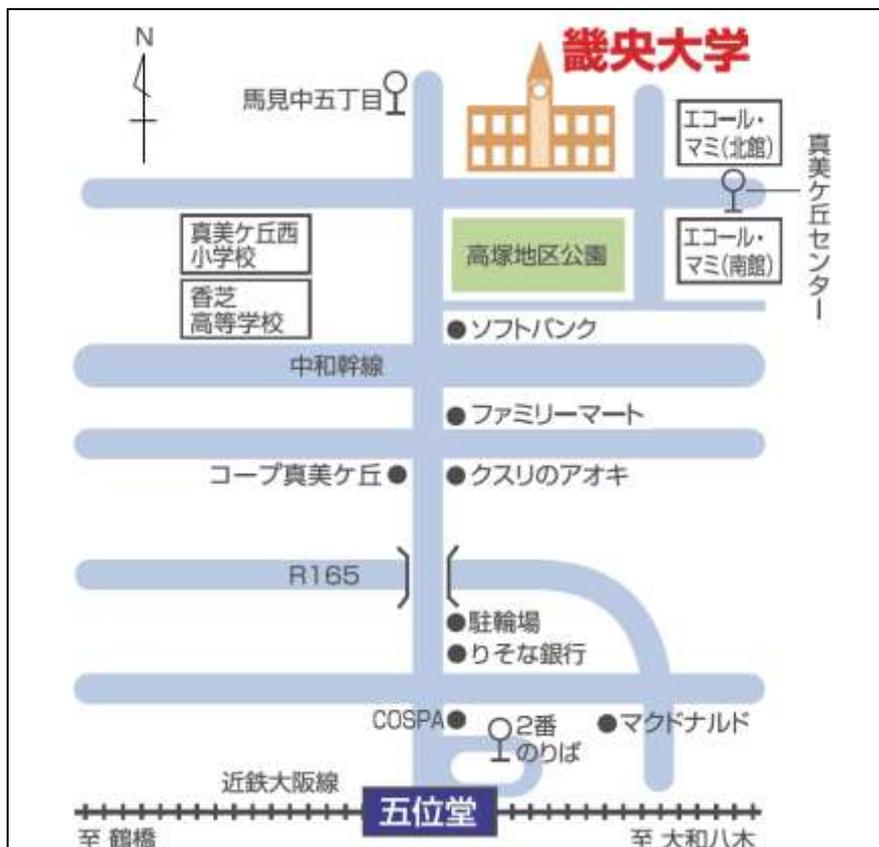
●五位堂駅から畿央大学まで

- ・バス：いずれも、大学正門までの徒歩を含む所要時間は約 6 分程度です。

☆ 2 番のりばから、34系統（馬見北一丁目ゆき）または 13系統（王寺駅ゆき）にて「馬見中五丁目」下車。料金 220 円。

☆ 5 番のりばから、37系統（馬見南二丁目ゆき）にて「真美ヶ丘センター」下車。料金 240 円。

- ・タクシー：五位堂駅からタクシーで畿央大学まで、所要時間約 6 分、料金 1,000 円程度。
- ・徒歩：五位堂駅から畿央大学まで（改札を出て右へまっすぐ）、約 21 分。



畿央大学 Web サイト (<https://www.kio.ac.jp/guide/campus/access/>) より抜粋。

<五位堂駅発のバス>

	2番のりばから乗車 ⇒馬見中五丁目下車		5番のりばから乗車 ⇒真美ヶ丘センター下車	
	34 馬見北一丁目ゆき	13 王寺駅ゆき	37 馬見南二丁目ゆき	
8	6 35	22 59	9 29	
9	9	31 56	24	
10	9	31 56	24	
11	9	31 56	24	
12	9	31 56	24	
13	9	31 56	24	
14	9	31 56	24	
15	9	31 56	24	
16	9	31 56	11 44	
17	17 40	27 57	17 40	

(2024年3月16日改正)

<五位堂駅ゆきのバス>

	馬見中五丁目バス停から乗車				真美ヶ丘センターバス停から乗車		
	13	34	五位堂駅ゆき		37	五位堂駅ゆき	
9	27	34	59		44		
10	27	34	59		44		
11	27	34	59		44		
12	27	34	59		44		
13	27	34	59		44		
14	27	34	59		44		
15	27	34	59		44		
16	34	49			31		
17	3	33	35	58	4	37	
18	16	26	36	46 57	0	28	48

(2024年3月16日改正)

- ・最新の運行情報については、奈良交通「奈良バスナビ web」でご確認ください。

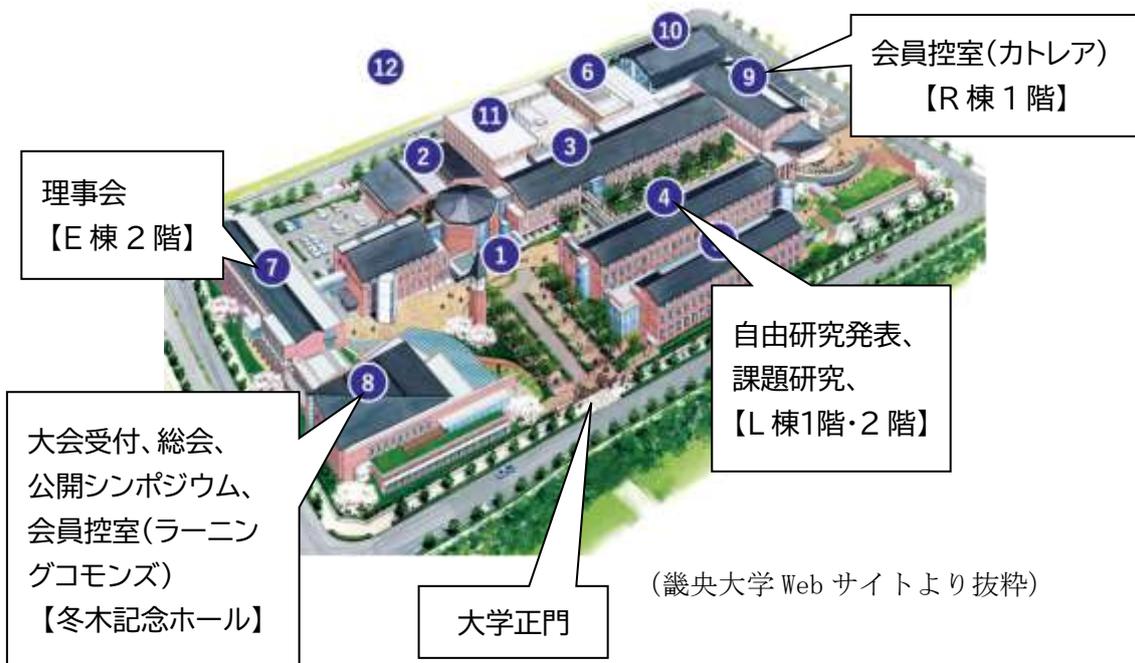
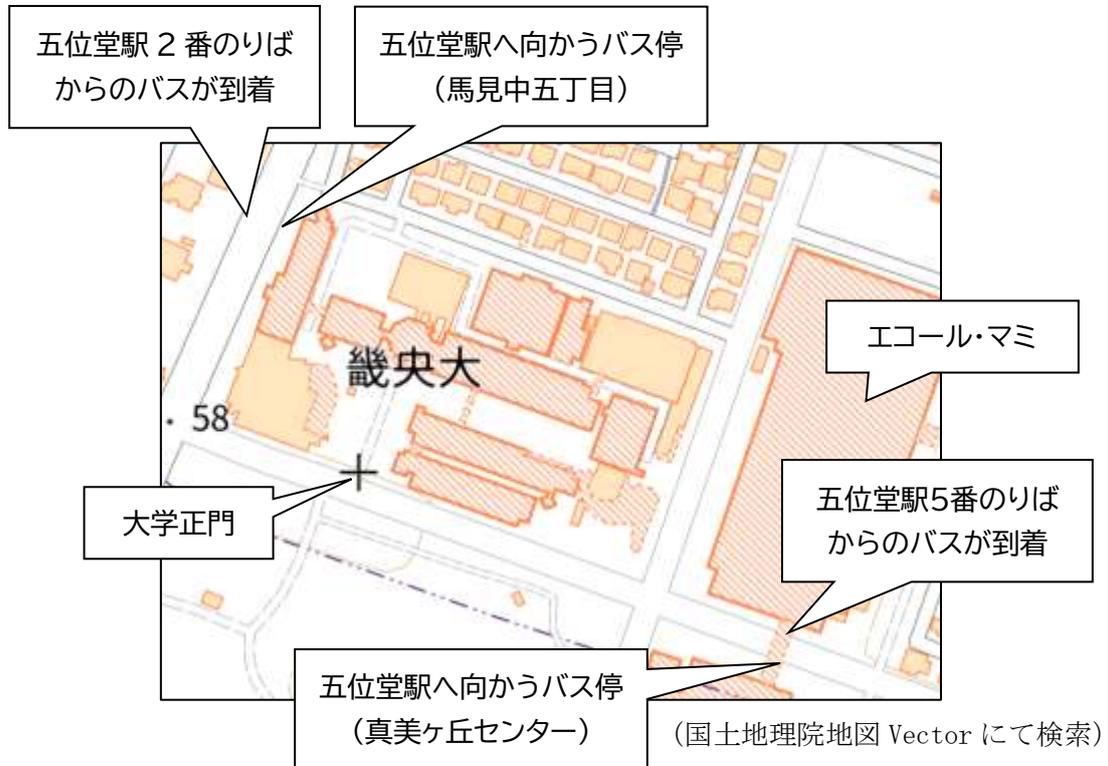
<https://navi.narakotsu.co.jp/search/>



- ・PASMO や Suica 等の交通系 IC カードもご利用可能です。

5. 学会費の納入 学会費の納入を希望される方は、大会受付横の学会事務局受付にて、学会費をご納入ください。事務局員の配置の関係上、9月14日(土)12:00~14:30のみ受付を開設します。(一般8,000円、学生5,000円)
6. 理事会 9月14日(土)11:00から全国理事会が行われます。会場はE棟2階 第3会議室にて、昼食は事務局で用意いたします。
7. 宿泊 各自でご手配をお願いいたします。ただし、最寄駅の近鉄五位堂駅周辺に宿泊できるホテルはございません。
8. 昼食
- ・大会期間中、学内の食堂は夏季休業中のため営業していません。
  - ・食堂(カトレア)のフロアは、会員控室としてご利用いただけますので、ご昼食は事前にご準備いただくことをお勧めいたします。
  - ・隣接するショッピングセンター「エコール・マミ」には、スーパーマーケット(お弁当・パン等)や飲食店がございます。その他、周辺には若干、飲食店もございますので、適宜ご利用ください。
  - ・コンビニは、五位堂駅改札横に1軒と、大学までの徒歩経路上に1軒、ございます。
9. 情報交換会 最寄駅周辺に宿泊できるホテルがない等、会場設営準備の都合上、情報交換会(懇親会)は開催しないこととなりました。どうかご理解いただきますようお願いいたします。
10. 会員控室 控室として、R棟1階「畿央カフェ カトレア」およびホール棟1階「ラーニングcommons」をご用意しておりますので、ご自由にお使いください。
- ※「カトレア」は、夏季休業中のため、給茶機等は停止しています。
  - ※「ラーニングcommons」は、「イケア」のコーディネートによる落ち着いた空間です。自動販売機のほかに、茶菓等をご用意します。
11. Wi-Fi 環境 大会開催期間限定でWi-Fiのゲストアカウントを用意のうえ、当日、会場にてご案内する予定です。使い慣れたルーター等をお持ちの方は、各自でご用意いただくと確実かと存じます。
12. 喫煙場所 畿央大学は「大学敷地内全面禁煙」を基本としており、周辺道路や住宅地内での喫煙も禁じられております。喫煙場所は設置されておられませんので、どうかご理解・ご協力のほどよろしくをお願いいたします。

## キャンパス・マップ



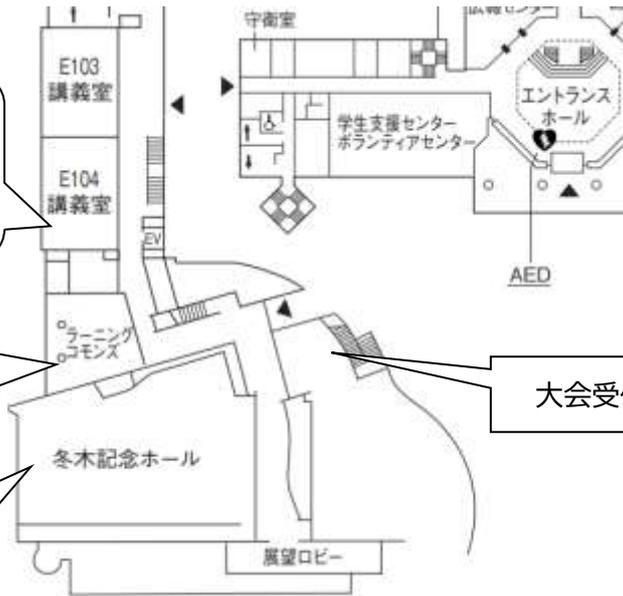
正門から、正面の校舎に向かって直進し、坂を上って左側にある⑧に大会受付を設置します。

**E棟・ホール棟**

※理事会会場  
は、この部分の  
2階です。

会員控室  
(休憩・歓談用)

総会、公開シ  
ンポジウム



大会受付

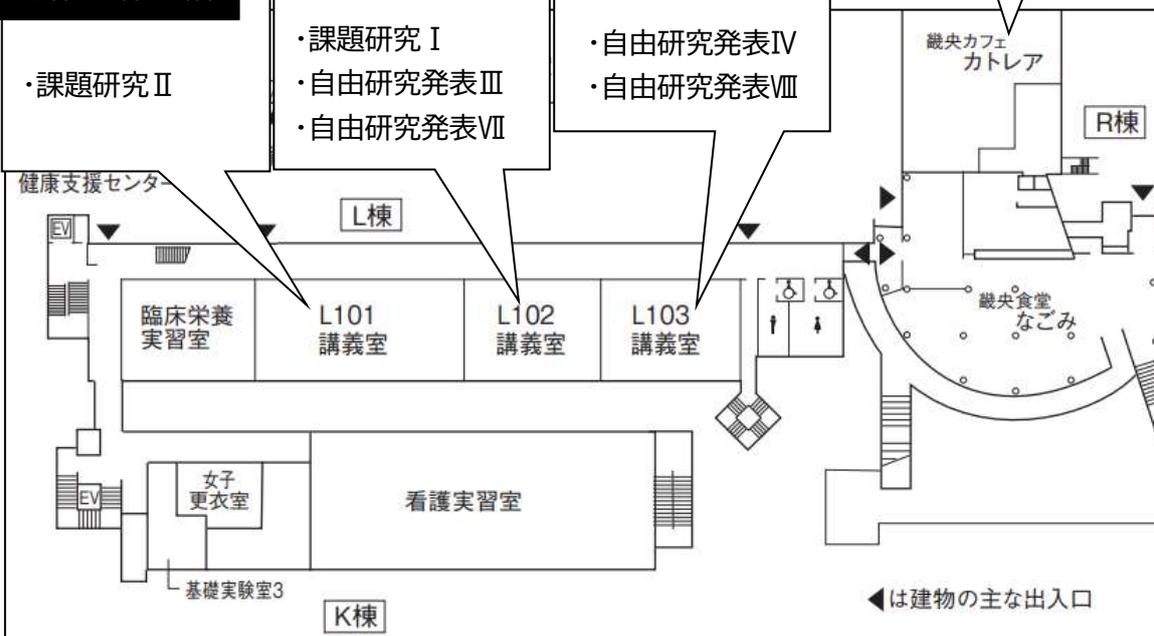
**L棟・R棟 1階**

・課題研究II

・課題研究I  
・自由研究発表III  
・自由研究発表VII

・自由研究発表IV  
・自由研究発表VIII

会員控室  
(昼食用)

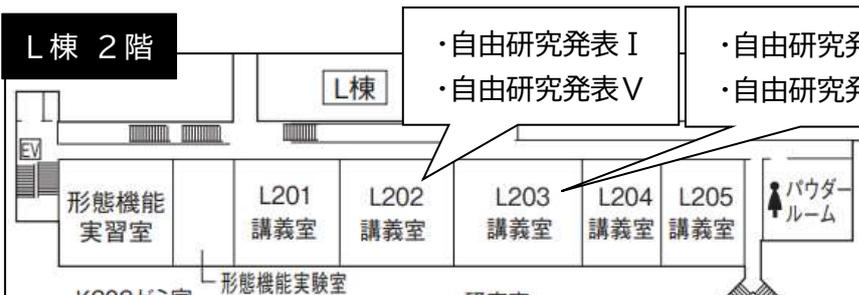


◀は建物の主な出入口

**L棟 2階**

・自由研究発表I  
・自由研究発表V

・自由研究発表II  
・自由研究発表VI



# 自由研究発表要領

1. 発表時間  
個人研究  
発表 20 分、質疑応答 5 分  
共同研究（口頭発表者が 2 名以上の場合）  
発表 40 分、質疑応答 10 分
2. 発表用資料  
発表者が事前に 40 部を目安に印刷の上、各自会場にご持参願います。  
※会場校での資料のお預かり及び印刷は、お引き受けできません。
3. 発表用機材  
・発表に際しては、各教室備付のパソコン(Windows10, Microsoft 365)、プロジェクタ、スクリーンが利用できます。発表申込時に機器使用を申し込まれた方は、データを USB メモリに入れてお持ちください。  
※会場設置のパソコンではデータの編集作業はできません。  
・ご自身のパソコンを持ち込んでいただいても構いません（PC ケーブルコネクタの形状は、HDMI および USB Type-C）。
4. 欠席の場合  
・発表者がやむを得ず欠席する場合は、前日までに下記に必ず連絡してください。  
日本学習社会学会第 21 回大会実行委員会事務局  
E-mail : [learningsociety21th@gmail.com](mailto:learningsociety21th@gmail.com)  
※発表者が欠席の場合は、発表時間の繰り上げはせず、質疑・休憩の時間とします。
5. その他  
・発表者は、ご自身の発表開始時刻にかかわらず、各分科会の開始 10 分前までにご来場いただき、司会者に出席を通知してください。  
・配布資料がある場合、各会場の所定の位置に資料を置いて頂き、USB データ確認などが必要な場合は教室スタッフにお伝えください。

# 自由研究発表 I

L202 講義室

9 月 14 日 (土) 13:00～14:35

司会 若園 雄志郎 (宇都宮大学)

【1】13:00～13:50

海外につながる高校生に対する母語と母文化の支援

—COLP (海外協働学習オンラインプログラム) の有効性と成果から—

○津村 公博 (浜松学院大学)

○白鳥 絢也 (常葉大学)

○田島 喜代美 (常葉大学・非)

【2】13:50～14:15

母語を活用した学習支援の可能性

移民第二世代の支援者に注目して

高梨 宏子 (東海大学)

14:15～14:35 共同討議

## 自由研究発表Ⅱ

L203講義室

9月14日(土) 13:00～14:35

司会 大野 順子(平安女学院大学)

【1】13:00～13:50

外国にルーツを持つ生徒に対する教科指導の課題  
一定時制高校における事例を通して～

○窪 和広(法政大学兼任講師)

○竹熊 孝博(日本大学非常勤講師)

【2】13:50～14:15

シュタイナー学校の植物学の理論と実践  
～スイスのシュタイナー学校5学年の実践を中心に～

本間 夏海(日本経済大学)

14:15～14:35 共同討議

## 自由研究発表Ⅲ

L102講義室

9月14日(土) 13:00～14:35

司会 平井 貴美代 (常葉大学)

【1】13:00～13:25

地方公共団体のスポーツ行政のあり方  
—青梅市についての事例研究—

横山 幸祐 (国土館大学大学院法学研究科博士課程)

【2】13:25～13:50

大人の学びと学校教育の融合  
～公民館活動を授業につなぐ～

小西 哲也 (公立大学法人下関市立大学)

【3】13:50～14:15

学校開放の社会教育的展開と人材  
—大阪市の事例研究—

山本 竜司 (放送大学大学院／大阪市社会教育主事)

14:15～14:35 共同討議

## 自由研究発表Ⅳ

L103講義室

9月14日(土) 13:00～14:35

司会 栗原 幸正 (高崎健康福祉大学)

【1】13:00～13:25

北海道白樺養護学校の成立過程に関する歴史的分析  
—教育運動が果たした役割に注目して—

佐野 博己 (静岡県教育委員会)

【2】13:25～13:50

言語障害支援における学習コミュニティの特質  
—北海道言語障害児教育研究協議会に焦点をあてて—

田中 謙 (日本大学)

【3】13:50～14:15

包括的性教育としての性暴力防止教育の検討  
—「生命の安全教育」との比較を通して—

良 香織 (宇都宮大学)

14:15～14:35 共同討議

# 総 会

冬木記念ホール

9 月 14 日（土） 14:45～15:45

## 公開シンポジウム

学校施設を基点とした学習社会の「共創」  
—社会教育としての学校開放の再定義—

冬木記念ホール

9月14日（土）16:00～18:00

趣旨：

児童生徒数の減少に伴って、毎年、一定数の廃校施設が生じており、地域における有効活用が全国各地で進められている。他方で近年、学校施設には、既存施設の長寿命化や耐震化といったハード面の整備だけでなく、新しい時代の学びを実現するための場として、地域とともに創り上げることが求められている。学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議の最終報告書「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」（令和4年3月）では、「Schools for the Future : 『未来思考』で実空間の価値を捉え直し、学校施設全体を学びの場として創造する」をキーコンセプトとしている。ここでは、「学び」「生活」「共創」「安全」「環境」という「5つの姿の方向性」の一つに、「地域や社会と連携・協働し、ともに創造する共創空間を実現する」が挙げられている。

学校施設の地域における活用は、社会教育のための「学校開放」として長らく行われてきた。今回の「共創」をめざす動きは、コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の「地域とともにある学校」づくりをさらに推進するとともに、学校体育施設の有効活用や学校施設と社会教育施設の複合化等、地域における社会教育の展開に対しても様々な可能性を拓くものであり、これまでの学校開放の在り方に対する再考が求められているのではないだろうか。

今回のシンポジウムでは、今後の学校施設において学びの「共創」空間がいかにして創り上げられるのか、学校施設を基点とした今後の社会教育における学校開放の在り方について考えてみたい。

（後援：奈良県教育委員会、畿央大学現代教育研究所）

登壇者： 荻野 亮吾 会員（日本女子大学） 「学校施設開放・複合化の過去と現在  
—地域教育経営の視点から考える—」

橋田 裕 氏（スポーツ庁地域スポーツ課長）

「学校体育施設を基点としたスポーツ機会の確保」

藪内 善史 氏（天理市教育委員会まなび推進課長）

「公民館との協働による学校施設の可能性

—天理市「みんなの学校プロジェクト」が目指すもの—」

司会：佐々木 保孝（天理大学）・宮村 裕子（畿央大学）

## 課題研究Ⅰ（研究推進委員会企画）

テーマ：学習社会基盤としての地域社会と学校教育  
－「特別活動」における学習活動を軸として－

L102講義室

9月15日（日）10:00～12:00

趣 旨：

グローバル化や情報化という社会変化の中で、学習者としての個人が様々な社会的・文化的背景をもつ多様な人々との関わりの中で、協働することができる資質・能力、自己と他者を同時に尊重し、新たな価値を創造的に生み出す力の獲得が求められる。

学校教育における学びは生涯学習体系においても大きな役割を担うものであり、所属する集団や社会の形成者として自らの課題を解決し、他者と協働し集団や社会における生活及び人間関係をより良く形成するための基盤となる経験を提供するものと考えられる。日本の基準カリキュラムにおける「特別活動」はよりよい人間関係の形成や公共の精神の育成を目指し、協働性や異質なものを認め合う土壌を育み学習活動の基盤となる経験を得るとともに、特に現行の学習指導要領においては人間関係形成、社会参画、自己実現の視点に立ち整理され、また「キャリア教育」の要としても位置づけられている。

方法原理として「なすことによって学ぶ」とうたわれる「特別活動」においてこれらの経験を得るための実際の社会としての地域における活動は不可欠であり、地域社会の中で連携を持った学習活動が行われる必要があるとともに、中央教育審議会答申において

「人々の生涯を通ずる自己向上の努力を尊びそれを正當に評価する社会」と描かれた学習社会像が実現されるには、このような認識が社会全体として共有されることが求められると考えられる。本課題研究においては、地域社会における学習活動との連携にこの転換への契機があるものととらえ「特別活動」の学習活動を軸としながらその理念と実態、課題について検討したい。

報 告 者：若園 雄志郎 会員（宇都宮大学）「特別活動にみる地域づくりと社会教育  
－栃木県の事例から－」

菱田 隆昭 会員（和洋女子大学）「学習基盤としての地域と学校の連携  
－富山県五箇山地域の小規模高等学校の取り組みから－」

指定討論者：上野 昌之 会員（東京都立大学非常勤）

司 会：吉田 尚史 会員（研究推進委員会・福岡女学院大学）

## 課題研究Ⅱ（国際交流委員会企画）

テーマ：多様性の時代における教育への問い ―社会的に周縁に置かれた人々の声や視点から教育、社会を問い直すには―

L101 講義室

9月15日（日）10:00～12:00

### 趣 旨：

本課題研究は、「多様性の時代における教育への問い ―社会的に周縁に置かれた人々の声や視点から教育、社会を問い直すには―」をテーマとした。グローバル化が進む今日、民族、言語、文化、思想、個人の価値観は勿論、急変する各国の政策そして世代間の相違などがみられる。異なる文化を持つ者（マイノリティ）にとって異文化社会に適応することは容易ではなく、受け入れ社会（マジョリティ）にとっても異文化を有する者に対する受け入れ方や姿勢などは喫緊の課題となっている。特にこれまでの考え方では全体を捉えきれない程複雑に垂直化と水平化が同時に進んでいると考えられる。

そこで、本学会国際交流委員会では、企画課題研究において、多様な社会文化的背景を持つ者への取り組みとしてアメリカ、オーストラリア、日本の3カ国における比較研究を企画することになった。

報告者としては、日米の現代教育改革やシティズンシップ教育の専門家であり、アメリカにおける子どもの声や参加の教育実践・政策に関わる発表を担当する古田雄一会員、オーストラリアにおける幼児教育段階の性の多様性教育の実践についてその背景や課題を通して検討する中村春菜会員、日本社会の多様性時代における課題とマジョリティの関係性と今後の展望に詳しい金 侖貞教授をお招きし、課題発表をお願いすることにした。

外国につながる人々をはじめ、多様な社会文化的背景を持つ者たちが増えてくるなか、社会的に周縁に置かれた人々の声や視点からの教育活動は重要である。さらに、学校や学校外との連携をしながら、地域全体の教育・支援体制を考えていく取り組みは必要不可欠であると考えられる。

報告者：①古田 雄一 会員（筑波大学・国際交流委員）：周縁化されやすい子どもの声の包摂と学校教育の変革の試み―アメリカの事例を手掛かりに―

②中村 春菜 会員（早稲田大学大学院）：幼児教育段階における性の多様性教育について―オーストラリアの実践から考える―

③金 侖貞 氏（東京都立大学教授）：多様性時代における日本社会の課題とは―マジョリティはどう変わるのか―

司 会：呉 世蓮 会員（関東学院大学・国際交流委員長）

# 自由研究発表Ⅴ

L202講義室

9月15日(日) 13:00～15:05

司会 田中 謙 (日本大学)

【1】13:00～13:25

ミュージアムにおけるパパ支援の重要性

: ミュージアムは育休パパをどのように獲得していくか

内海 美由紀 (日本大学非常勤講師)

【2】13:25～13:50

日本人の漬物嗜好の変化と社会教育の可能性

—漬物関連業者への訪問調査を中心に—

手塚 貴子 (帝京大学教育学部)

【3】13:50～14:15

トルコにおける学習漫画による防災教育の効果と課題についての研究

チャクル ムラット (関西外国語大学)

【4】14:15～14:40

能登応援合唱プロジェクト

金山 光一 (元早稲田大学非常勤講師)

14:40～15:05 共同討議

## 自由研究発表Ⅵ

L203講義室

9月15日(日) 13:00～15:30

司会 出相 泰裕 (大阪教育大学)

【1】13:00～13:25

多様性に配慮したキャリア教育支援プログラムの試み  
—多文化共生社会における市民協働プロジェクトの挑戦—

星野 洋美 (常葉大学大学院)

【2】13:25～13:50

医療課題の分野横断的理解を促す大学授業の試み  
—新興感染症とグローバル化社会—

吉田 林 (横浜薬科大学)

【3】13:50～14:15

オーストリアの専門大学のガバナンス分析(2)  
—出資者の類型に焦点を当てて—

田中 達也 (釧路公立大学)

【4】14:15～14:40

「公設民営短期大学」の展開と地域コミュニティ(2)  
—産官学合同のリカレント教育と“地域の大学づくり”への模索—

木田 竜太郎 (関西福祉科学大学)

【5】14:40～15:05

企業の新卒採用担当者の潜在的なニーズと専門学校への対応に関する研究

島川 崇 (神奈川大学)

15:05～15:30 共同討議

## 自由研究発表Ⅶ

L102講義室

9月15日(日) 13:00～16:00

司会 佐々木 保孝 (天理大学)

【1】13:00～13:25

漢字学習に自由進度学習を取り入れた際の学習効果

松山 拓磨 (静岡市立中島小学校教諭)

【2】13:25～13:50

コミュニティ・スクールから社会に開かれた学びへ  
—浜松市立与進北小学校「つながる学校」の展開—

磯部 真代 (静岡県浜松市立蒲小学校)

【3】13:50～14:15

コミュニティ・スクールにおける学校教育と社会教育の学びの往還  
—田村律之助像の再建プロジェクトを通して—

鈴木 廣志 (栃木市地域政策課)

【4】14:15～15:05

導入「後発」地域における学校運営協議会 (コミュニティ・スクール) の現状と課題

○鈴木 守 (常葉大学)・○堀井 啓幸 (常葉大学)  
久米 昭洋 (常葉大学)・白鳥 絢也 (常葉大学)  
宇内 一文 (常葉大学)・黒岩 一雄 (常葉大学)

【5】15:05～15:30

合同学校運営協議会解除・解消校の特定

大橋 保明 (名古屋外国語大学)

15:30～16:00 共同討議

## 自由研究発表Ⅷ

L103講義室

9月15日(日) 13:00～16:00

司会 武井 哲郎 (立命館大学)

【1】13:00～13:25

「いじめ」問題の政策課題化 —1980年代以降の教育政策の変容—

岩本 利裕 (関西大学大学院ガバナンス研究  
科博士課程後期課程)

【2】13:25～13:50

執務環境の整備の視点から見る単学級小学校の学校経営上の課題

深見 智一 (北海道教育大学釧路校)

【3】13:50～14:15

学校現場から見た教員の初任者研修の現状と課題 —高等学校における事例を通して—

竹本 弥生 (横浜薬科大学)

【4】14:15～14:40

高校教育の公共性再考

若槻 健 (関西大学)

【5】14:40～15:05

高等学校教科「情報」における情報活用能力育成の現状と課題

三好 哲郎 (横浜薬科大学)

【6】15:05～15:30

学業不振と学力 —千葉県・山口県の調査研究の歴史—

北野 秋男 (日本大学)

15:30～16:00 共同討議

# 日本学習社会学会 第 21 回大会プログラム

2024 年 7 月 31 日 発行

編 集：日本学習社会学会第 21 回大会実行委員会

〒635-0832 奈良県北葛城郡広陵町馬見中 4-2-2

畿央大学教育学部 TEL. 0745-54-1601 (代)

委 員 長 宮村 裕子 (畿央大学)

事務局長 佐々木 保孝 (天理大学)

委 員 前平 泰志 (畿央大学)

委 員 森岡 伸枝 (畿央大学)

委 員 藤井 克哉 (畿央大学)

やさしさを「チカラ」に変える。

**Kio** 畿央大学  
KIO UNIVERSITY